

会 議 結 果 （ 報 告 ）

件 名	令和8年度第1回中野市生涯学習推進会議（第2回中野市生涯学習基本構想策定委員会）
年 月 日	令和8年7月28日（火）午前10時～午前11時30分
場 所	中野市役所5階会議室51
出 席 者	増田正明委員長、阿部恵子副委員長、松本幸男委員、藤澤重徳委員、西山真希委員、町田順一委員、小林則政委員、山口光雄委員、清野友幸委員、山口佐織委員、宮崎美江委員、藤沢高広委員 事務局：小林生涯学習課長、小林課長補佐兼生涯学習推進係長兼文化財係長、千田副主幹
欠 席 者	高野美紗委員、阿部達也委員、小林俊幸委員、寺島正友委員、沢田一男委員、田中健太郎委員
会 議 概 要	1 開会 生涯学習課長 2 あいさつ 増田委員長 （自己紹介） 3 会議事項 (1) 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画（案）について ・令和8年度の年間活動計画についてお認めいただいた。 (2) 生涯学習事業実施状況・実施計画について ・令和7年度実施状況・令和8年度実施計画を配布し、質問・ご意見を募った。質問や意見等あれば、会議資料の中にある質問用紙に記入し、生涯学習課あてに8月17日（月）までにご提出いただくこととした。 【質疑・応答】 委 員：令和7年度と令和8年度で変わったところがありますか。第2次の計画の中ですので、大きな変化はないと思いますが、昨今、すごく早く環境が動いているので、もしマイナーチェンジしているところがあれば教えていただきたいと思います。

事務局：資料2の15ページに「健康サポーター事業」が新たに加わっています。それ以外については基本的には継続となっています。

(3) 第3次中野市生涯学習基本構想の策定について

- ・(資料3) 第3次中野市生涯学習基本構想策定方針(案)について、事務局の方で加筆、修正した旨を説明。
- ・5ページの7構想策定の日程(予定)について、今後の流れを説明。
- ・(資料4) 中野市生涯学習基本構想「総論」草案について、この草案は、前回の会議までに議論いただいた「第2次中野市生涯学習基本構想の総括等(案)について」をもとに、今後、策定する第3次中野市生涯学習基本構想の総論に該当する箇所をまとめたことを説明。
- ・資料3、4について、質問や意見等あれば、会議資料の中にある質問用紙に記入し、生涯学習課あてに8月17日(月)までにご提出いただくこととした。

【質疑・応答】

委員：資料3の3ページと資料4の5ページにも「必要に応じて構想を見直します」とあります。構想の期間の8年間というのは動かせないと思いますが、必要に応じてというのは非常に大事ななと思っています。そこでお聞きしたいのですが、第2次構想では、必要に応じての見直しは何回行いましたか。第2次の間で、世の中はかなり変わってきていると思います。これから社会の変化というのはどんどん進んでいくのは間違いないと思うので、やはり定期的な見直しをした方が良いのではないかと思います。

事務局：構想自体の見直しは行っていません。10年間同じ構想で事業を実施しております。

委員：マイナーチェンジは何回くらいやっていますか。

事務局：マイナーも含めて構想自体はそのままです。市の他の部署においても、大きな計画をいくつか持っています。中野市のケース

で申し上げますと中野市の総合計画が基本となっています。総合計画は前期基本計画、後期基本計画という形で設けています。上位計画の総合計画の見直しがあった時は合わせて実施したいと思います。定期的なという意見がありましたので、事務局内部でも検討させていただければと思います。

委 員：資料４で「社会情勢」、「国・県の動向」が記載されていますが、「市の取組状況」が空欄になっています。「市民アンケート」はこれから実施するものですし、「推進会議等の意見」についてはこれから取りまとめるということなので空欄であるのは分かりますが、「市の取組状況」というのは、今の段階でまだ記載できないのはなぜですか。

事 務 局：今後、庁内の各課の方に第２次構想についての課題の整理を実施していきますので、次回の会議には記載できると考えております。

委 員 長：今の資料４の委員の意見に付け加えるような形になるかと思いますが、資料４の表の中には団体アンケートが抜けていますが、団体アンケートの分析も実施しますよね。

事 務 局：市民アンケートの中で、団体向け、個人向けということで、２つまとめて市民アンケートという形にさせていただいています。

委 員 長：資料４の３ページのアンケート調査の結果で市民アンケート、団体アンケートで区別されていますので、団体アンケートは入れるべきであると思います。

事 務 局：わかりました。

委 員 長：資料４に書いてあるということを全て載せるわけではないですよね。それぞれの状況に応じて、載せるものもあれば、載せないものもあるということによいですか。

事 務 局：そうです。

(4) 生涯学習に関するアンケート調査（団体）の結果について

- ・第3次中野市生涯学習基本構想策定に際し、市民の意見を伺い、その結果を各種事業へ反映させるために、今年の4月20日から5月29日にかけて実施されたもので、調査方法、回収数、回収率等について説明。
- ・各設問について、過去の調査結果との違いを簡潔に説明。
- ・今後、個人向けアンケートについては、市民満足度調査を利用することを説明。（①調査対象は市内に居住する満18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人、②調査期間は7月31日から8月28日、③調査方法は無記名で、60歳以上については郵送、Web回答、60歳未満についてはWeb回答）

【質疑・応答】

委 員：団体アンケートがまとまったということですが、これから分析に入るんですか。

事務局：分析という部分ですが、資料4の課題の整理の中で、今、市民アンケートということで、空欄になっていますが、ここに分析した結果が入ってくる予定です。

委員長：アンケート結果を各種事業へ反映させるというのは、なかなか難しいと思います。考察だけで終わってしまう場合もあります。

委 員：分析していただいて、しっかりと前進するようにお願いします。

委 員：現在の中野市の公民館が抱えている課題がそのまま出ている結果ではないかと思います。まさに生きがいづくりをいろんな形で一生懸命やられていますが、生涯学習の場ということになると、3ページの目的の選択肢にもあるように、「生活に必要な知識・技術・資格の習得」であるとか「仕事に必要な知識・技術・資格の習得」の部分がもっと盛んになる必要があるのではないかと思います。前からAIということを申し上げているんですが、どのように市民の方たちの関心を集めるかということだと思います。ここをどうやって高めていったらいいかを私自身考

えていて、高めるためには実際に体験する場というものが必要だと思っています。こういうふうになれば、今の自分の仕事をもっと楽になるし、効率よくなるし、場合によっては若い人が入ってくれるかもしれないと思います。実際に体験する場が、市内にはあまりにも少なすぎるのではないかと思います。このままいくと高齢化に伴って団体がどんどん消えていってしまうのではないかと感じます。それ以外としては、16ページの一番最後に、「他の市町村の方が多くなり施設減免の規約ギリギリであるので、規約を緩和していただけないか」という意見です。市民が3分の1以上いないと減免措置を受けられないということでしょうか。私が別の件で公民館にお願いに行ったら、基本的に中野市に勤めている方でも市外の方は参加をお断りしていると言われたんです。私は利用してくれるだけ良いのではないかと思います。市民が少なくとも他の市町村から来て、市民の方と一緒にやっていただくことは、市にとってありがたいことだという考え方に転換できないかと思います。

事務局：今、委員がおっしゃった対象が3分の1という点について市の方の方針みたいなものを確認して、分かりましたらご回答させていただきたいと思います。

委員：団体アンケートで調査対象が公民館利用団体となっていますが市内の小規模で行っている団体もあるので、公民館に限らず、その他を利用している団体にもアンケートをとると、もっと幅が広がると思います。

委員長：アンケート全体を見渡すと、例えば2ページの調査では「スポーツ・武道・お茶・お花・舞踏等」が増えています。それから、4ページの調査では、女性がすごく増えています。つまり、活発になっているという考察はぜひ必要であると思います。また、それに関わって、表紙を見ると登録団体数が249となっていま

す。前回の調査結果を見ると利用団体数が221となっています。前回よりも増えているんです。それだけ団体が活発に動いているということです。こういった全体的な考察が資料の中に載てくると良いと思います。第2次生涯学習基本構想の冊子の8ページから9ページには、団体アンケートの結果が掲載されており、8ページには活動内容、活動状況、そして9ページに活動日が載っているだけです。これを見てもったいないなと思います。この項目以上に、例えば、資料の7ページにはお困りの点について3つ以内で選んでくださいとあり、今の社会情勢で会員が高齢化し、活発な活動ができない、会員が少ない、新規会員が集まらないとか、こういったことの方が私は大事だと思います。前回、この3つを載せている理由があるとは思いますが。

副委員長：前向きにとらえていいかなと思った点が、8ページの調査では「日常生活での個人的な実践」という項目が伸びています。団体内の個人と考えると、14ページに「現在ある公民館・図書館・博物館などの学習施設の設備・充実」と回答とした団体が2割あって、最も多くなっているとあります。団体として活動する時に、いわゆる従来の資料、紙ベースのもの等を利用したいということだと思います。新しいものを取り入れて活動できるという施設の充実ということが、一つ大きな方向として据えられたら、自分で勉強したいという部分を補えるのではないかと思います。また、それを団体の活動に活かしていけるようになるのではと思います。今後、個人の学習意欲や学ぶ意欲という部分に光を当て、市としても力を入れて施設の充実というところへつなげていけたら良いのではと思います。

委員長：8ページでは、「日常生活での個人的な実践」が伸びていて、文化祭の行事での発表会は減っています。今の時代だなと思いま

す。そして、前のページのアンケートでも個人的に楽しめれば
いいという結果になっています。その辺をマイナスに考えるの
ではなく、学びが多様化してきていると思います。

委 員：以前の公民館では、必ず発表会とかみんなに見てもらうことを
目的にやっていることが多かったように思っています。発表会
も大分減っている団体が多いということは、発表するよりもや
っている人たちの横のつながりの方をすごく大事にしている傾
向があると思います。コロナとか災害がきっかけなのかはわか
りませんが。発表することに限らず、発表するには場所も必要
だし、そのための準備も必要です。その大変さよりも普段の皆
さんとのつながりや日常のつながりを大事にしていきたいとい
う傾向があるように感じられました。

4 その他

(1) 生涯学習情報について

- ・ 3 か月ごと年 4 回発行し、市内の公共施設や関連施設に配布している
ほか、各公民館分館長あてに送付していることを説明。

(2) 中野まなび塾について

- ・ 平成10年度から実施しており、本年度は67講座があることを説明。

(3) 会議録の公表について

- ・ 会議録の公表について、市の審議会等の会議における会議録の作成及
び公表の指針が策定されたことを説明。委員長に一任することです承
を得た。

5 閉会

生涯学習課長

生涯学習推進会議委員名簿

(任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日)

氏 名	機 関 団 体 名	備 考
増田 正明	社会教育委員	出席
阿部 恵子	社会教育委員	出席
松本 幸男	社会教育委員	出席
高野 美紗	社会教育委員	欠席
阿部 達也	社会教育委員	欠席
藤澤 重徳	社会教育委員	出席
西山 真希	社会教育委員	出席
小林 俊幸	市区長会	欠席
町田 順一	公民館運営審議会	出席
小林 則政	図書館協議会	出席
寺島 正友	文化財保護審議会	欠席
山口 光雄	スポーツ推進委員会	出席
沢田 一男	シニアクラブ連合会	欠席
田中 健太郎	北信州能力開発センター	欠席
清野 友幸	公募委員	出席
山口 佐織	公募委員	出席
宮崎 美江	公募委員	出席
藤沢 高広	公募委員	出席

(敬称略)